

地域との連携・協働による教育環境整備

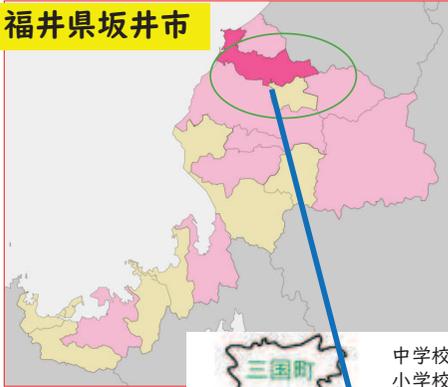
～まちづくり協議会や近隣の県立高等学校とのつながり～



福井県坂井市 坂井中学校区教頭会



福井県坂井市



東尋坊



越前がに



中学校1校各学年4クラス
小学校4校 3校は全学年単級クラス
1校は2または3クラス



丸岡城

坂井市ホームページより

主題設定の理由

主題設定の理由

■福井県教育大綱■

「ふるさとの未来と自らの将来を思い描く
キャリア形成力の育成」



子どもたちが主体的に取り組める
「ふるさと教育」の充実が必要

《教頭として》
パイプ役…地域連携におけるより良い方法を検討

研究の方法

■中学校区教頭会の定期的開催

・活動状況の報告 ・情報交換 ・新たな方策の検討

「このまちが好き! 地域に関わりたい! 貢献したい!」



学校と地域のランドデザインの共有

研究の方法

研究内容

および

教頭としての働きかけ

木部小学校



全校児童 80名

R6年度:本校に赴任 赴任の年は、どんな活動をしているのかを知る。(控えめ!?にスタート)

《活動を通して感じたこと》
 前例踏襲、教員もお任せ状態、児童も言われた通りに活動している。
 これでは、子どもたちが主体的に取り組む「ふるさと教育」ではない

■教頭としての働きかけ■

黙っていることはできない!!

教員に対し...

何を学ばせたいの?どのように学ばせたいの?
 子どもは、ワクワクしてる?楽しそう?

★子どもたちの「こんなことしてみたい!」を引き出す★



教職員、まちづくり協議会で話し合いを行う

- ・子ども主語とした活動を行っていくために
 - ・どのような「木部っ子」を育てていくか
- 共通理解(学校と地域でベクトルを揃える)**



11月(4年生)
 まちづくり協議会の方と語る会

米作り体験および笹もち作り ~まちづくり協議会との連携・協働~



■教頭としての働きかけ■

子どもたちが自分事として考え、主体的に活動するためにどうするとよいか



木部地区の一員として、まちづくりに参画し、座談会を行ってはどうか



木部コミュニティセンター長(まちづくり協議会所属)に相談

→市役所 市民協働課に協力依頼

「まち未来トーク(ワークショップ)」の開催が決定!!



お世話になっている地域の方に感謝の気持ちを伝えてはどうか

「ありがとうの会」を同時開催



★★R7年度、子どもたち主体で企画・運営することに決定★★

まち未来トーク

～児童×地域×市役所市民協働課との連携した取組～



【ありがとうの会】
～学校生活ボランティアの方に
感謝を伝える～

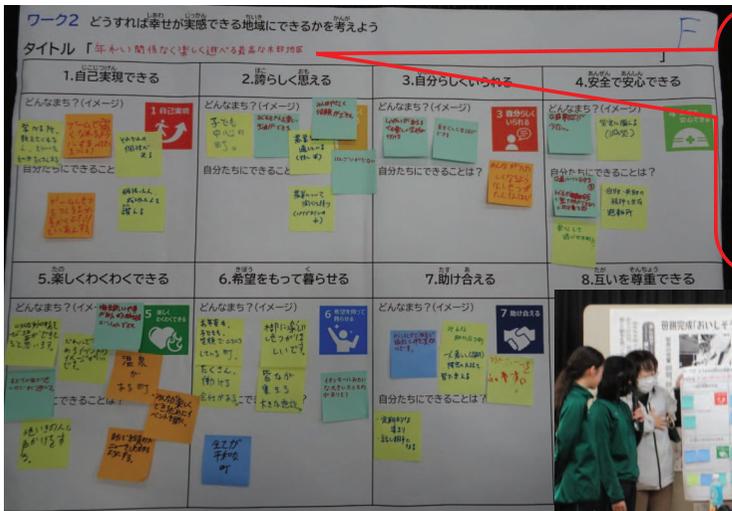
【まち未来トーク ～木部地区のWell-being～】

- ①木部地区のポジティブとネガティブなところは？
- ②どうすれば幸せが実感できる地域にできるか

兵庫小学校



全校児童 75名



年齢関係なく楽しく
遊べる最高な木部

「木部ふれあいまつり」
地域と学校が
合同開催決定



米作り体験(4～6年)

～下兵庫むらづくり委員会との連携・協働～

◎お米の学習会・田植え指導

◎田植えオリエンテーション
(校内活動)



経験者の5年生から
初心者の4年生に

米作り体験(4～6年)
～下兵庫むらづくり委員会との連携・協働～

◎田植え体験

※子どもたちは、たて割り班ごとに協力して活動



枠回し (5年生)



田植え (たて割り班)

さつまいも作り体験(全校)・野菜作り体験(2・3年生)
～下兵庫むらづくり委員会との連携・協働～

◎さつまいも作り…畝づくり、苗植え、収穫の指導

※子どもたちは、たて割り班ごとに協力して活動



畝づくり



苗植え



収穫

米作り体験(4～6年)
～下兵庫むらづくり委員会との連携・協働～

◎結束講習会収穫の指導



◎稲刈り体験



稲刈り

ハサ掛け



※子どもたちは、たて割り班ごとに協力して活動

さつまいも作り体験(全校)・野菜作り体験(2・3年生)
～下兵庫むらづくり委員会との連携・協働～

◎野菜作り…トマト、きゅうり、なす、とうもろこしなどの育て方についての学習会



野菜の苗植え



成長の観察

■教頭としての働きかけ■

◎ むらづくり委員会の思い

毎日食べているお米、野菜などを作り育てる農業体験を通して、食べ物のありがたさを感じ取ってほしい。



☆ 「教育活動」としての位置づけ

- ・子どもたちが**主体的に**学べるような思いの共有
「どんなことを知りたいか」
「どんなことができるようになりたいか」

大関小学校



全校児童 138名

親子でワークショップ(兵庫地区のおすすめポイント)
～兵庫まちづくり協議会との連携・協働～



ウォーキング (探索)



おすすめポイントの共有

☆ 次年度からは、子どもたちの意見をテーマに盛り込んでいただく。

地域愛を育むプロジェクト

大関小学校 × コミュニティセンター(通称:コミセン) との連携・協働

「笑顔・大好き大関プロジェクト」

目標：・子どもたちが主役のまちづくり
・持続可能な環境のまちづくり

地域と連携した6つの教育活動

① 大関こども農園

② 大関えがお朝市

③ クリーンアップ作戦
「ゴミ探検」with DX

④ ゴミ探検交流事業

⑤ 通学路チェック事業

⑥ 敬老事業
(メッセージ発信)



2025年度の取り組みの深化

教育活動としての位置づけへ

背景 従来：希望者による休日開催
課題：出前授業が単発、参加の広がりに限界

「全校で取り組む教育活動にしてはどうか？」

今年度の実施内容

- ・縦割り班活動として全校児童が参加（12班×4コース）
- ・出前授業 → ごみ探検 → 集計 → ワークショップ
- ・協力団体（区長会・福祉施設・まちづくり協議会、市）がサポーターとして参加

クリーンアップ作戦「ゴミ探検」with DX

ICTを活用した環境学習 × 地域連携

活動の概要

- ・2019年度スタート（10年計画／今年6回目）
- ・環境アドバイザーによる出前授業
- ・地域住民と「ゴミ探検」
 - ▶ ごみの種類・写真をGoogleマップで共有
 - ▶ 各コースで集計・分析
 - ▶ ワークショップで意見交換・提案

活用ツール Googleマップ、写真記録、グラフ作成

活用の成果 子どもたちの意識変容と、地域環境への具体的提言

2025年度の取り組みの深化

教頭としての働きかけ

- 地域と学校をつなぐ「橋渡し」
- 活動の目的や教育的意義を、担当や教職員に共有
- 「地域活動」から「学びとしての教育活動」への昇華

今後の展望・課題

子どもたちの
「ふるさと愛」を育む
継続的な仕組みづくり

地域連携を
「自分ごと」として捉える
風土の醸成

「負担感」を軽減しつつ、
子ども主体の活動への
仕組みづくり

東十郷小学校



全校児童 376名

～ 2年生 生活科～

野菜苗植え

～農業コース生徒による指導～



まちたんけん

～農業コース・自動車コース生徒による体験活動や説明～



坂高マルシェで買い物

～農業コース・食品コース生徒による栽培・製造・販売～



県立坂井高等学校との連携 ～坂井高校の特徴～

県内最大級の総合産業高校（H26年4月開校）

坂井農業高校
春江工業高校
金津高校経理科・情報処理科
三国高校家政科

統合



食農科学科

農業コース

食品コース

機械・自動車科

機械コース

自動車コース

電気・情報システム科

電気コース

情報システムコース

ビジネス・生活デザイン科

ビジネスコース

生活デザインコース

坂井高校HPより <https://www.sakai-h.ed.jp/>

～ 4・5・6年生 特別活動～

環境委員会のごみ拾い活動

～電気コース生徒作成アプリ「さかっち」～

プログラミングクラブ

～電気コース生徒による支援～



高校の統合による学科増
児童生徒に求められる資質・能力の変化



連携内容の変化

以前・・・（坂井農業高校時代）農業、園芸、畜産科

今・・・△農業体験や動物とのふれあいは無くなった
◎機械科・自動車科見学
「坂高マルシェ」での買い物体験
I C T機器の活用

今後の課題（坂井中学校区全体）

【活動の成果】

- 全国学力・学習状況調査 質問紙より
- 地域の活動に継続的に参加する姿より



「このまちが大好き」「地域にかかわりたい」
「貢献できるひとになりたい」
子どもたちの思いが育まれている

■教頭としての働きかけ■

- ・ただ「楽しかった」という活動にしないために
児童の主体的な学びとなるようねらいを明確に
- ・高校生側の目標についての共通理解

【課題】

- 教頭がただの窓口係で終わらないように
- 双方の目的を明確に
 - 共通理解した上で活動を計画
 - 活動を共に振り返り、子ども主体の活動へ
 - ふるさとをもっと知りたい!役に立ちたい!
- 前年度踏襲とならないように
- 小中高の連携・学びのつながり

ご清聴

ありがとう

ございました